

2011年8月4日

2012年3月期 連結業績見通しの修正について

2011年5月11日に公表した2012年3月期連結業績見通しにつきまして、最近の航空取扱量の動向等を踏まえ上方修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2011年度航空取扱量の見通しについて

区 分	前回見通し (5月11日発表) A	今回 見通し B	増減		(参考) 2010年度実績
			数 量 B-A	% B/Ax100	
航空機発着回数(万回)	17.3	18.3	1.0	105.8	19.1
航空旅客数(万人)	2,607	2,714	107	104.1	3,252
航空貨物量(万トン)	206	205	△0	99.9	207
給油量(万kl)	403	425	22	105.4	468

- 航空機発着回数、航空旅客数及び給油量については、第1四半期の実績が前回見通しを上回って推移していることから上方修正。
- 航空貨物量は、第1四半期の実績が概ね前回見通しどおり推移していることから、ほぼ据え置き。

2. 2011年度連結業績見通しについて

(単位:億円)

区 分	前回見通し (5月11日発表) A	今回 見通し B	増減		(参考) 2010年度実績
			金 額 B-A	% B/Ax100	
営業収益	1,616	1,664	48	103.0	1,878
営業利益	76	107	31	140.8	320
経常利益	△ 6	22	28	—	234
当期純利益	△ 32	△10	22	—	99

- 航空取扱量が前回見通しよりも上方に推移すると見込まれることから、空港使用料収入、旅客施設使用料収入及び給油施設使用料収入等の増加により、営業収益は前回見通しを48億円上回る見通し。
- 営業収益の増加に伴い、営業利益は前回見通しを31億円上回る見通し。
- 当期純損失は、前回見通しより22億円改善し赤字幅が縮小する見通し。

(注) 業績見通しは、東日本大震災等の影響を含め、当社が現時点で想定した航空取扱量に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。

以上